

「車いす空の旅事業」 チャーター機で行く北の大地 北海道・旭川 初秋の旭山動物園(日帰り)

神奈川県遊技場協同組合（理事長：伊坂重憲）と神奈川県福祉事業協会（会長：伊坂重憲）は、社会貢献活動の一環として、公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に協賛して300万円を支援しているが、「車いす空の旅」は、同事業団が主催して毎年行っている事業で、日頃から車いすで、生活している障害児者とその家族を沖縄や北海道への飛行機での空の旅に招待しているものであるが、今回はコロナ禍のためチャーター機での日帰り旅行を実施した。

1. 日時	令和4年9月9日（金）
2. 場所	羽田空港 ～ 北海道 旭川(旭山動物園)
3. 主催・協催・支援	公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団・フージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会・神奈川県遊技場協同組合・神奈川県福祉事業協会など
4. 参加者	障害者・家族・ボランティア等 約131名

5. 概要

神奈川県遊技場協同組合と神奈川県福祉事業協会は、協会が設立した昭和60年から37年間にわたって、様々な社会貢献活動に取り組んでいるところですが、この公益財団法人神奈川新聞厚生文化事業団が主催する「車いす空の旅事業」には、平成元年から今日まで継続して支援を続けています。

しかしながら、令和2、3年は、新型コロナウイルス感染拡大により、中止となり昨年は10月に「チャーターフライトで楽しむ日帰り空中散歩」と題して富士山上空等の周遊飛行を実施、今年も、もう少し足を延ばして、同じくチャーター便で北海道旭川空港へ着陸し、旭山動物園を日帰りで楽しみました。

この旅には、主催者側の小久保 篤専務理事(兼当協会理事)と当協会の堀井 浩之理事のほか、職員もボランティアとして3名参加しました。

※この空の旅の様子は、10月24日の神奈川新聞紙面特集に掲載



チャーター便で旭山動物園へ